

# 平成一一年産粗飼料の成分値の傾向について

昨年産の粗飼料の成分値につきましては、昨年の本誌一月号号でもお知らせしておりますが、まだデータのには不十分でしたので、再度今年一月までに分析依頼があった粗飼料の成分値をまとめましたのでご紹介致します。

全道の平均値を表1に、過去三年間の乾草、牧草サイレージ、ロールパックサイレージの各一番草及びトウモロコシサイレージの成分値を比較したグラフを図1～4に、平成一〇年と一一年のサイレージのpHを比較したグラフを図5に示しました。

**一 水分**  
一月号でも報告した通り、道内では、過去三年間で最も低い値となっております。特に乾草とロールパックサイレージについては、低めだった一昨年と比較しても二～三%も低い値となっております。但し、牧草サイレージは一昨年並みの値となっております。

## 二 粗たんぱく質(CP)

乾草については、低めだった一昨年と同程度、牧草サイレージ、ロールパックサイレージについては、低くなる傾向にあります。トウモロコシサイレージについては、例年と比較し大きな差はありません。

## 三 TDN

乾草では、過去三年間で最も低い値となっており、一昨年と比較して二%低い値となっております。牧草サイレージ及びロールパックサイレージについては、ほぼ昨年並みか、若干高めめの値となっております。

## まとめ

昨年の道内は、天候が良好だったため、乾草やサイレージの水分を低く調製でき、品質的には良いものができたと思われませんが、昨年末頃から当社に届くサイレージを見てみると、前年より酪酸臭の強いサイレージが多いように感じ

表1 全道平均(平成11年7月～平成12年1月)

種類	番草	検体数	pH	水分	粗たんぱく	TDN	ADF	OCW	Oa	Ob	Ca	P	Mg	K
乾草	1番草	276		14.20	9.54	52.60	39.92	66.56	5.47	61.09	0.30	0.22	0.17	1.85
乾草	2番草	20		14.58	13.41	54.30	35.00	60.92	5.73	55.19	0.33	0.28	0.18	2.16
牧草サイレージ	1番草	308	4.12	69.92	12.55	56.04	37.14	62.36	8.72	53.64	0.39	0.23	0.17	1.99
牧草サイレージ	2番草	57	4.09	65.69	15.95	54.14	34.17	56.66	6.55	50.11	0.41	0.26	0.18	1.92
トウモロコシサイレージ		152	3.97	71.78	9.17	66.04	30.18	50.49	15.49	34.99	0.29	0.21	0.18	1.71
ロールパックサイレージ	1番草	170	4.39	40.72	9.96	52.50	34.14	58.85	8.34	50.50	0.31	0.20	0.15	1.84
ロールパックサイレージ	2番草	73	4.78	35.69	14.86	56.12	32.17	56.71	7.30	49.41	0.38	0.24	0.18	1.97

\*水分以外乾物中(%)

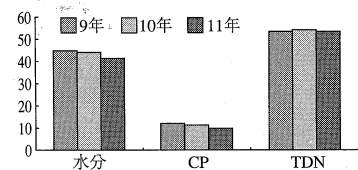


図3 ロールパックサイレージ1番(道内)

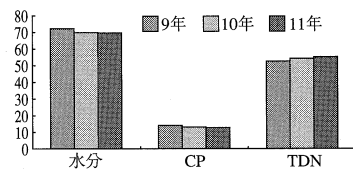


図2 牧草サイレージ1番(道内)

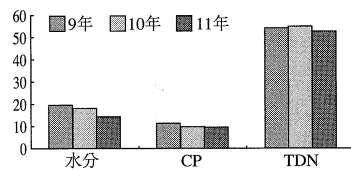


図1 乾草1番(道内)

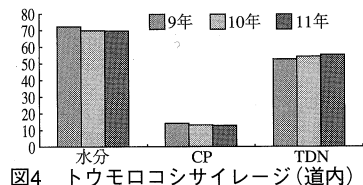


図4 トウモロコシサイレージ(道内)

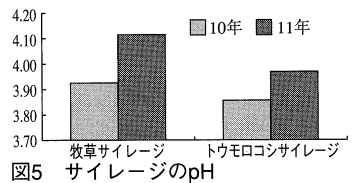


図5 サイレージのpH

参考までに、図5に平成一〇年度産と平成一一年度産のサイレージのpHを比較したグラフを示しましたが、一昨年と比較するとpHが高くなっておりまして、地域によっては、粗たんぱく等の栄養価が低くなるだけでなく、発酵品質的にも例年に比べ劣る傾向にありますので、飼料の給与には十分ご注意ください。

(北研 田中)

**雪印種苗株式会社**  
編集発行人 菊地 庸  
本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目  
TEL 〇一〇八三一〇一六一  
FAX 〇一〇八二〇二五八二